

## 令和元年度第1回庄内町男女共同参画社会推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和元年3月6日(金) 18時30分～20時00分
- 2 開催場所 庄内町役場 第2会議室
- 3 出席委員 石川精一、佐藤恒子、加藤容、瀬川幸子
- 4 事務局 佐藤企画情報課長、樋渡課長補佐兼企画調整係長、日向

---

### 任命書交付

#### 1 開 会 (18:30)

#### 2 委員・事務局の自己紹介

#### 3 委員長及び委員長職務代理者の選出 委員長に石川精一委員、職務代理者に佐藤恒子委員

#### 4 諮 問

諮問書「第3次庄内町男女共同参画社会計画の推進について」を企画情報課長が読み上げ、石川委員長へ手渡す。

#### 5 報告事項等

資料確認(事務局より説明)

#### 6 協 議

第3次庄内町男女共同参画社会計画の進捗状況について

【事務局】 資料に基づき説明。

1 ページ目 I 男女共同参画社会に向けての意識づくり  
→特に意見なし

【事務局】 資料に基づき説明。

2 ページ目 II ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)と働く環境づくり

【委員長】 昨日の新聞でパタハラ(パタニティハラスメント)という男性が育休から戻ると上司から嫌がらせを受ける問題について取り上げられていた。こちらについてもII1(2)①に関連して入れた方がいいのでは。企業としての体質(企業イメージ)も問われる問題であるようだ。

【事務局】 第3次計画を策定した時点では、男性の育休を進めようという時点であり、多少推進されてきた今、今度は戻ってからの問題ということで最近現れた言葉なのだと思う。答申に加える。

【事務局】 資料に基づき説明。  
3 ページ目 III 参画と協働による地域づくり

【委員長】 III2(2) 地域防災体制の充実について、昨年この委員会の場でも 3.11 を踏まえた防災の視点に立った防災体制についてご意見をいただいたが、その後も災害は続いている。今年に入ってから避難所も段ボールでベッドをつくる、目隠しをする等、プライバシーを守るという観点で見直しが進んでいるが、町として具体的に取り組んでいることはあるか。

【事務局】 今年は第三学区で防災訓練を行ったが、確かに段ボールを使っての避難所運営や簡易トイレを実際に組み立てて町長に座ってみてもらおう等、実際に行っていた。プライバシーの部分に関しては女性の視点が必要不可欠だと思う。そういう意見を取り入れて取り組んでいると思われる。すぐにすべての避難所にとはいかないようだが、段ボールで組み立てて作るような資材については順次購入し始めているようだ。

【委員長】 資材の購入となれば、全箇所に対応の数が必要になるため、積極的に進めてほしい。

【事務局】 III2(2)②の「今後の方向性」について、地域防災計画については今年見直しの予定で、防災会議を数回開催して 11 月ころまでに策定することのこと。その際には、「女性の視点で防災を考える懇話会」も開催して、まとめた防災計画に対して女性の視点から意見をいただく会を設けるとのこと、本委員会にも協力依頼が来るかと思うのでその際にご協力をお願いしたい。

【事務局】 資料に基づき説明。  
4 ページ目 IV 安心して暮らせるまちづくり

【委員長】 暴力に対する支援体制の充実について、「今後の方向性」に「関係機関と連携を取りながら～」とあるが、最近ニュースで取沙汰される児童相談所の問題について、山形県内の行政機関同士の話し合いや日頃の連携はどのように行われているのか。

【事務局】 担当課に確認して回答する。

【委員長】 相談しても取り合ってもらえなかったり、自分の身を守ることで精いっぱい子どもまで守れないという状況もあるようだ。

【委員】 児童相談所では通報があってから 48 時間以内に対応すると謳っているが、学校で対応したときに委員長がいうような状況にぶつかることはあるのか。

【委員】 児童相談所と我々の受け止め方に差があり、私たちは大変な事案として児童相談所につながり、児童相談所からすればよくある事例という現実もあり、こちらが思うような緊急性を感じていない場合もある。ただ、お互いの判断基準のもとに動くのでなんとも言えないが、兆しがあったときの初動が大事だと思う。緊急性が高い場合は、警察署の方ですぐ動いてくれる場合もある。

【委員長】 あってはならないことだが、起こった時のために前向きな取り組みを強く行ってほしい。

【事務局】 資料に基づき説明。

平成 30 年度「第 3 次庄内町男女共同参画社会計画の推進について」の検討状況について

【事務局】 昨年の答申の内容に関して、現在の時点で答えが出ているものもあれば、今後一層進めていくべきという内容もあり、今まで前回の答申をフィードバックしたことがなかったようだったので、今回出させていただいた。

【委員】 男女別出席番号について、この答申の内容については校長会でも話題になったが、「出席番号を男女別に行っていることで何が不都合なのか」と言われてしまうとその後が続かない現実がある。ただ、今年うれしいことに、幼稚園の方でランドセルを贈呈するときには男女混合に行ってきた。幼稚園は一步進めようとしたし、高校は男女混合名簿で、小中学校だけが取り残されている。日常生活では男女区別なく子どもたちはいきいきと関わりながらできているのに、どうしてそこを区別するのかというところを強く訴えていくことで変わっていくのではないかと。

【委員】 また、最近うれしいと思うのは、ほとんどの学校行事にご夫婦で参加されるということ。夫婦一緒にわが子を育てることを楽しみながら育てる雰囲気が出てきているのだと思う。ランドセルは確かにアンケートはとって、8 割が現状のままでいいとの回答だったが、保護者は 1 年生として入るわが子を思い浮かべるからであろうし、6 年生に話を聞くと赤を選ぶ子は少ない。変えることに抵抗があるのはわかるが、今のままでダメなの？でなく、今の子育て世代をターゲットにして切り込んでいけば、ゆくゆくは社会の組織の中においてや高齢になったときの自治会の役を引き受けるという部分に生きてくるのでは。

【委員】 実は昨年委員を務めていた方からランドセルの色については変革をもってほしいと伝言を受けてきた。私もこの委員会に参加して、こうやっていけばいいのかと思うことがあり、小さいころから男女共同参画のような考えに触れていけば、その子たちがお年寄りになったときに今とは違う時代がくるのだろうと。今のおじいちゃん世代はやはり女性は家にいていいのではという時代だったため、難しいところはあるのかと。

【委員】 以前は行事や健診等にお父さんだけしかきていないと「あそこの家、お母さん何してるんだらう」というところがあったが、最近は夫婦でいらっしゃったりお父さんだけでいらっしゃる家庭が増えたので、違和感がなくなってきたと思う。みんなを引っ張って推進していくには、活字に起こして訴えていくのがいいと思う。

【委員】 少し話はそれるが、高校については制服について、女の子もズボンをはきたいのにスカートしかないという声もある。制服の見直しについても入れてもらえれば。

【委員】 確かに実際に様々な状況を抱えたお子さんがいるし、ジェンダーフリーの考え方も広まってきているので、フリーな形での制服づくりも検討していかなければならないのだと思う。

【委員長】 前に戻るが、家庭における男女共同参画、いわゆる男性の家事育児参加について、男性の育休は推進されてきているが、これも新聞にあったのだが、とるだけになってしまっており、ゲームしながら片手間で育児をしたり、食事はまったく作らないなど、きちんと育休になっていない問題もあるとのこと。上っ面ではなく実質を伴った育休取得というのが目指すべきところでは。

【事務局】 うまく推進できている企業では、育休中のレポートを全社員がみられるように掲示板等にアップして情報共有をしているところもあった。

## 7 その他

第2回委員会：3月12日（木）18：30～ 第2会議室

第3回委員会：3月17日（火）18：30～ 第2会議室

ただし、新型コロナによる自粛があるため、状況によっては第3回は開催しない場合もある。

## 8 閉 会

(20:00)